

感 染 症

相双地域感染症発生動向調査週報(2025年第25週)

(令和7年6月16日～令和7年6月22日)

令和7年6月26日

定点報告(上段:定点当たり／下段:報告数)、全数報告(報告数)		2025年					2024年	2023年
区 分	疾 病 名	22週	23週	24週	25週	合計	合計	合計
定点報告	インフルエンザ	0.33	－	－	0.33	－	－	－
		1	0	0	1	1,216	1,616	2,660
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	－	0.33	2.00	1.33	－	－	－
		0	1	6	4	834	3,622	2,663
	RSウイルス感染症	0.50	－	－	1.50	－	－	－
		1	0	0	3	79	309	425
	咽頭結膜熱	0.50	2.50	4.50	3.00	－	－	－
		1	5	9	6	57	337	129
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.50	3.00	1.50	3.00	－	－	－
		5	6	3	6	152	657	237
	感染性胃腸炎	2.00	3.50	1.50	0.50	－	－	－
		4	7	3	1	411	610	988
	水痘	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	2	6	1
	手足口病	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	5	952	129
	伝染性紅斑	2.50	3.00	4.00	1.00	－	－	－
		5	6	8	2	46	0	8
	突発性発しん	1.00	－	－	1.00	－	－	－
		2	0	0	2	39	182	266
	ヘルパンギーナ	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	19	319
	流行性耳下腺炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	8	13	15
	急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	1	9	13
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	13	1	3
	クラミジア肺炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	1.00	－	－	－	－	－	－
		1	0	0	0	4	16	1
	無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	0	0
	インフルエンザ入院	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	14	19	10
	新型コロナウイルス感染症(入院)	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	23	120	19
	急性呼吸器感染症(ARI)	82.33	79.67	73.33	61.33	－	－	－
		247	239	220	184	2210	－	－
全数報告	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	1	0	1	0	0
	百日咳	3	3	3	8	33	0	0

カラー流行表示は、福島県感染症発生動向調査週報(IDWR)の表示をそのまま表示しています。

定点把握疾患	<u>咽頭結膜熱 と 伝染性紅斑 の 流行</u> が見られます。
全数把握疾患	<u>百日咳 8名(学童2名、10代5名、40代1名)</u> の報告がありました。

伝染性紅斑	相双地域は前週と比較して減少しましたが、県(県内総数)は前週と比較して増加しました。警報は続いています。 伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。感染経路は飛沫感染や接触感染で、約10日の潜伏期間の後、発しんが両頬から体・手・足に拡がります。過去に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫や流産を生じる場合があるため注意が必要です。予防には手洗いや、マスク着用等の基本的な感染対策が有効です。
咽頭結膜熱	相双地域及び県(県内総数)ともに前週と比較して減少しています。 咽頭結膜熱はアデノウイルスによる感染症です。飛沫・接触感染が主な感染経路となるため、基本的な感染対策を心がけましょう。
百日咳	本県で57名の報告がありました。 百日咳菌によって引き起こされる、激しい咳を伴う病気です。特に乳児では重症化のおそれがあり、早期のワクチン接種を推奨します。乳児のいる家庭では、保護者を含めた家庭内の感染に注意しましょう。 感染経路は飛沫感染や接触感染とされており、手洗いやマスクの着用など基本的な感染対策が有効です。
レジオネラ症	レジオネラ症(全数報告)については、本県で4名報告がありました。 レジオネラ症はレジオネラ属菌による感染症で、浴槽・エアコン等の水循環設備や乾燥土壌の土埃から、菌を含むエアロゾルを吸引することで感染します。慢性疾患や加齢等で免疫機能が低下した方、喫煙者、大量飲酒者は、肺炎を生じ、重症化するリスクがあります。

(参考・引用)福島県感染症発生動向調査、感染症週報、2025年第25号